

平成 28 年度

港区ごみ減量優良事業者等表彰 受賞者の紹介



受賞者

- 株式会社ソニー・ミュージック
エンタテインメント
- 東京都立芝商業高等学校
- 株式会社日立ハイテクノロジーズ

港区は、事業所が集積する都心区という地域特性から、区内から排出されるごみの大部分を「事業系ごみ」が占めるという特徴があります。

「事業系ごみ」の減量を着実に進めるためには、事業者による“ごみの発生抑制”“リサイクル（資源化）への取組”が必要不可欠となっています。

そのため「事業系ごみ」の減量とリサイクルの一層の推進を図るために、平成21年度に「港区ごみ減量優良事業者等表彰制度」を創設し、模範的な取組により、高いリサイクル率を達成するなどの顕著な実績を上げている事業者等を表彰しています。

これらの優良事業者の模範的で優れた取組事例を、区のホームページなどで広く紹介することや、区内事業所への立入指導の際に効果的に活用し、事業者による更なる自主的な取組を促進し、「事業系ごみ」の減量・資源化を図るための一助として役立てていきます。

港 区

SME 乃木坂ビル

受 賞 者	(株)ソニー・ミュージック エンタテインメント
建 物 所 在 地	赤坂 9-6-35
延 床 面 積	15,991 m ²



表彰理由

これまで、回収に当たっては料金を支払っていたごみ類が、徹底した分別を行うことで、**“資源”として売却できる**ことに着目し、環境への優しい配慮と経費削減を両立させている点が評価されました。



回収容器を14種類に細分化するだけでなく、分別したごみや資源の最終処理工程を掲示し、社員の意識向上を図っています。

休憩スペースにも、分別容器を設けることで、どの場所でも、自主的に分別を行うことができます。



受賞者の声

SME乃木坂ビルは、2001年に竣工した地上6階、地下3階建てのオフィスビルで約450名の従業員が勤務しております。一般的なオフィススペースの他にも、音源の収録・編集を行うスタジオや、ネット配信用スタジオ、社員食堂などを備えています。

環境負荷の低減を目指し、ごみ処理全体の流れを半年かけて見直し、少しでも多くの廃棄物がリサイクルに回るよう廃棄物処分業者と調整しました。

特に、廃棄物総量の半分以上を占めていた紙ごみを有価物として買い取ってもらうことで、「ごみ分別＝一般可燃ごみの削減（処理費用も減る）」となる分かりやすい環境を作りました。

◎各フロアのごみステーション（廃棄物置き場）

- グループ共通の6分別（紙ごみ・廃プラ・一般可燃ごみ・カン・ビン・ペットボトル）ごみ箱
- 分別ルールを明記した案内図を設置
- 紙類もリサイクルを見越した分別ができるようにする

目的と行動を明確にした環境教育を定期的を実施し、分別に関する知識の定着と意識の向上を図っています。社内環境会議、社内環境サイトにて定期的に活動結果を共有していることも、意識向上につながっていると思います。

この受賞を励みとし、引き続きごみ減量化活動に取り組んで参ります。

東京都立 芝商業高等学校

受賞者	東京都立芝商業 高等学校
建物所在地	海岸1-8-25
延床面積	16,492 m ²



表彰理由

清掃の時間に、教室等から排出されるごみを一か所に集め、生徒と教職員が一体となって行う「**分別作業**」の実施が評価されました。



清掃時に各教室から集められたごみを、ビロティに置かれた卓上に広げて、教員、主事、生徒の三者の目により、適正分別を行います。その場で、不適正な排出があった場合には、ごみを持ち帰り、各クラスや全校集会で周知しています。

分別したごみは、保管場所へ運搬し、計量を行い、排出量を記録することにより、排出実態が把握されています。



受賞者の声

本校は、平成7年8月に竣工した地上8階地下1階の本校舎と、地上2階の部室棟（1階が部室・2階が弓道場）、地上1階のごみ集積場を有する、全日制の都立商業高校で、生徒約600人・教職員約60人が在籍しております。

本校では、生徒の基本的な生活習慣確立と社会人育成の一端を担う商業高校として、マナー教育を強く推進しており、生徒指導の一環として環境美化に積極的に取り組んでおります。特に校内におけるごみの取り扱いについては、以下の3点に力を入れております。

1 ごみの減量化

- ① 学校で配布されたプリント等の持ち帰り
- ② 個人で使用するために校外から持ち込まれたものの持ち帰り
- ③ 校内で不必要となった物品の斡旋

2 ごみの分別

- ① 教室内的ごみを回収する際、教員及び技能主事が指導・助言を行い、美化委員会の生徒達がごみのチェックをすることによる、ごみ分別の徹底化
- ② 教職員の執務室内等にリサイクルボックスを設置し、リサイクル可能な用紙とカタログ・パンフレット等の分別を実施
- ③ 新聞・雑誌・段ボールの分別を実施
- ④ 廃蛍光灯・使用済乾電池専用の回収ボックスを設置

3 リサイクル

- ① リサイクル可能な用紙の裏紙利用。
- ② 個人情報を含まない紙ごみは、古紙回収業者へ回収を依頼する。
- ③ ペットボトルキャップ及びペットボトル専用の回収ボックスを設置し、自動販売機設置業者に回収を委託。（ペットボトルキャップは、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ）

この度は、本校の取組が評価され、港区ごみ減量優良事業者として表彰していただくこととなり、心より感謝申し上げます。これを励みに、生徒・教職員が丸となりまして、より一層のごみ減量化に取り組んでまいります。

日立ハイテク ビルディング

受 賞 者	(株)日立ハイテクノロジーズ
建 物 所 在 地	西新橋 1-24-14
延 床 面 積	24,634 m ²



表彰理由

「湿式シュレッダー」（紙をパルプ状に処理できる機械）を使用し、社内で使用されるOA紙の再利用を行う「循環型グリーン購入」への取組が評価されました。



執務室内から発生する機密書類やOA紙を回収し、ビル内に設置した湿式シュレッダーにより、繊維を壊すことなくパルプ状にして、古紙業者へ引渡し、OA紙に再生された物を再び購入し、社内で使用しています。

各フロアの計量器で毎日種類ごとに計量し、排出量と再利用率について、社内Webにより継続的に社員に対して情報共有されています。



分別精度向上のための社員教育や回収容器、表示の改善が行われ、各フロアに複数の分別コーナーを設置し、手元分別の徹底が図られています。



受賞者の声

日立ハイテクビルディングは1986年2月に竣工した、地上12階、地下2階のオフィスビルです。

現在日立ハイテクノロジーズ本社とその関連会社社員 約1,570名が勤務しています。

弊社は第20回 日経環境経営度調査 商社部門 第3位になるなど、環境に配慮した事業活動を積極的に行っております。循環型社会形成に向けて廃棄物減量の取組みもグループ一丸となって取り組んでいます。

当ビルでは紙資源のリサイクルのためにビル内に「湿式シュレッダー」を導入しています。

湿式シュレッダーではビルから出る機密文書などをパルプ状にすることができ、それを製紙会社に引き渡し、加工され、再び弊社が使用するOA用紙となって戻ってきます。このような紙資源循環システムを構築し、リサイクルに貢献しています。

湿式シュレッダーはリサイクルだけでなく、機密文書の内部処理による情報セキュリティ強化や、オペレータに障がい者を起用することによる社会貢献にも寄与しています。

また、各フロアに計量器を設置し、フロア毎の廃棄物量を把握。3ヶ月毎に社内イントラネットにて一般社員にも増減を報告し、廃棄物減量・リサイクルの啓発を行っています。

リサイクル率が悪化した場合などは清掃スタッフや廃棄物収集業者の協力も得ながら改善を実施しています。

フロア内の分別区分は約13種類あり、ペットボトルはキャップとラベルを剥がすなどきめ細かい分別の徹底により、リサイクル効率の向上を図っています。分別状況が悪化した場合には、掲示による注意喚起や分別ボックスを視覚に訴えるように変更するなどの取組みを行ってきました。

弊社の一連の取組みが評価され、表彰を受けたことは、廃棄物減量に取り組むビル関係者の励みとなります。引き続き廃棄物減量とリサイクル率の向上に取り組んでまいります。